

外国人福祉委員 傾聴活動の様子

訪問の際、重いものを運んで差し上げたり、お話相手をしたりすると「アイゴ〜、ありがとう。コーヒー飲んで帰り！ビール飲むか？おかすないけどご飯食べて帰り！」とおっしゃいます。訪問に間があると、「どこへ行って今日来たんや。心配した…」と手を握り、早速家へ入り話が続きます。訪問を終えて帰る時、「今日行ったらいつ来るんや？92歳や。いつ死ぬか知れへん…。正月おいでや」と話がつきません…。

（在日コリアン高齢者への活動から）

外国人福祉委員活動で感じたこと
まず、外国人高齢者の方々が国や地方の行政のシステムをあまり知らない、関わろうとされない傾向があります。つまり、他人に迷惑をかけるより、身内で解決する方がよいと考える高齢者が結構多いということでした。ですが、お話を伺う中で、自分の身の上話やら子どものこと、楽しみ、辛いことなど、はじめは遠慮しながら少しずつお話をされた後は、晴れ晴れとした表情に変わっていく姿を見て、人はみな一人ではいると寂しいが話を聞いてくれる人がたまに訪ねてきてくれたりお手伝いをしてくれたらうれしいことなんだと確信するこの頃です。

- ✧ 随時相談を受け付けています。
- ✧ お電話くだされば、面接でのご相談もお受けします。



075-681-2721

受付曜日 月・水・金曜日

受付時間 10:00~16:00

（この曜日・時間以外は転送での受付）



京都外国人高齢者・障がい者

生活支援ネットワーク モア

〒601-8007 京都市南区東九条北河原町5

TEL 075-681-2721

FAX 075-681-2722

Email:kyotomorenet@yahoo.co.jp

京都にお住まいの
外国籍高齢者・障がい者のための
生活見守り・支援活動

京都モアネット

外国人福祉委員活動

（朝鮮語、英語など）

more 모아

京都モアネット



外国人福祉委員制度は京都市の助成事業です

075-681-2721

外国人の福祉生活相談ホットライン

モアネット「外国人福祉委員」の活動

京都市お住まいの外国籍の方を対象に、以下の活動を行っています。

1. 電話相談

随時受け付けています。お電話でお聞きしたあと、必要に応じて訪問または面談させていただきます。たとえば、

- ・病院や銀行に行くのに付き添ってほしい。
- ・家具を買うのに、ヘルパーでは行ってくれない。代わりに行ってほしい。
- ・生活に困っているが、どこに相談していいかわからない。

…など、お困りのことがあれば、とにかくお電話ください。モアネットの外国人福祉委員を派遣する、あるいは、必要な機関につなげて、一緒に対応いたします。

2. 傾聴活動

話を聞いてくれる人がいない、寂しい…という方や、見守りをしてほしい、時々様子を見に行してほしい、という家族の方の思いに対して、定期的にご自宅を訪問して、お話を伺います。

3. 地域の方との連携

民生委員や老人福祉員など、地域の方々とのつながりを作り、外国人も日本人も、ともに支え合える環境作りを支援しています。



訪問活動の様子、久しぶりに話
ができて嬉しそう。

外国人福祉委員募集中！！

○外国人福祉委員の資格について

京都モアネットで行う「外国人福祉委員養成講座」

(1日研修・無料)を履修していただきます。そこで、外国籍住民の社会的・歴史的背景、相談者に対する訪問・傾聴・生活支援活動の意味等について理解を深めていただきます。語学力は問いません。

興味のある方、是非ご一報を！

たくさんの人々が、あなたの生活をフォローします。

